



人を育て 地域を創る

玉名市地域学校協働本部
事業だより第59号
令和4年7月13日

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

7月になりました。令和4年も半分が過ぎました。ありきたりですが「月日が経つのは早いもの」ですね。

一点の 偽りもなく 青田あり (山口誓子)

大野牟田の道を通っていると周辺の田圃では田植えが済んでいました。張られた水がキラキラと陽の光を跳ね返し、とても美しく、瑞々しく、日本の夏の田園風景です。

例年ならこの時期、しつこいまでに雨が降るのですが、今年の梅雨はもう終わりました。そして「危険な暑さ」の毎日です。皆様、お気をつけください。

6月、「水無月」、「June」から7月、「文月」、「July」、「盛夏の候」へ。いよいよ本格的な夏です。陽の光を浴び稲の苗もグングン大きくなり収穫の秋を迎えることでしょう。



放課後むつみ教室(放課後子供教室)が始まりました

玉名市では、睦合小学校に「放課後むつみ教室」、玉水小学校に「玉水学びの教室」と2つの放課後子供教室を設置しています。

放課後子供教室とは、放課後や週末に、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子供たちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子供たちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境をつくる取組です。

「放課後むつみ教室」が6月30日(木)にスタートしましたので、その様子を紹介します。いんいんゴマ作りです。

放課後むつみ教室

- ☆設置場所 睦合小学校
- ☆コーディネーター 今村恵子さん
- ☆安全管理員 3名
- ☆学習指導員 12名
- ☆参加人数 7名(1年生)

学習プログラム

- 06/30 ぶんぶんゴマ
- 07/07 科学遊び
- 09/01 おもしろ工作
・ことわざカルタ
- 09/08 昔の遊びをしよう
- 09/15 紙芝居作り
- 09/22 絵手紙
- 09/29 茶道①
- 10/06 マジック
- 10/13 グラウンドゴルフ
- 10/20 竹とんぼ・紙トンボ
- 10/27 茶道②
- 11/10 貝がらボックスを作ろう
- 11/24 もちつき
- 12/01 花の寄せ植え



まず、宿題を済ませます。



ぶんぶんゴマだ！早く作りたいな！



最初は色塗りだ。きれいに塗るぞ！



なかなか難しいなあ・・・



やったー！回った、回った！



校長先生もお母さんもチャレンジだ！

裏面あり

なぜ、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」なのか？

「事業だより第57号」と併せて読んでくださると有難いです。

【昨年度、聞こえてきた声】

- ◇推進員さんが気持ちよく動いていないのではないかと
- ◇学校の先生方に負担感があるのではないかと
- ◇この事業は機能しているのか？

これらには様々な要因が絡み合っていると思われます。それらを解きほぐすにはどうしたらよいかと考えてみました。方策はこれだけではないと思われませんが、その1つとして…

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することによって

- ### 地域学校協働活動をもっと見晴らしのよいものにする。
- ① 活動が「社会に開かれた教育課程」を踏まえている。
 - ② 活動の目標やビジョンに関わる大人が共有している。
 - ③ 活動計画があり、活動の内容や日時、支援して下さる方や参画する相手の方が分かっている。

地域学校協働の「よさ」が認知されること

子供たち、学校、地域のそれぞれにおける成果を実感することが一番の薬なのだろうと思います。

本部年間事業計画を見直しました

より分かりやすくするために

事業だより第58号で紹介した「令和4年度玉名市地域学校協働本部年間事業計画」を、6/24の本部会議で示したように改訂したいと考えました。右の表の赤い枠の部分です。今年度のテーマです。本部機能の3つの必須要件のすべてに関わっていると考へての改訂です。



令和4年度玉名市地域学校協働本部年間事業計画(改訂版)

	【コーディネート機能】	【多様な活動】	【継続的な活動】
事業内容	<input type="checkbox"/> 学校運営協議会との一体的推進 <input type="checkbox"/> 社会に開かれた教育課程を踏まえた地域学校協働活動年間計画の作成・充実		
	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員の配置（22名） <input type="checkbox"/> 会議・研修会等の開催 ①地域学校協働活動推進員への委嘱状交付式（4月4日） ②本部事務局の学校訪問（4月下旬） ※校長異動、推進員交代の学校を対象とする。 ③地域学校協働本部運営委員会（5月下旬、3月下旬） ④地域学校協働本部（推進員・地域連携協働担当職員）会議（6月、2月） ⑤地域の人づくり講座（10月～12月） ※中学校区毎に6～7回実施する。 ※推進員、地域住民対象にワークショップ ⑥中学校区推進員連絡会（中学校区ごとに開催。事務局も積極的に参加） ⑦授業参観、事業参観	<input type="checkbox"/> 放課後子供教室（6月上旬～2月下旬） ①玉水学びの教室 ②放課後むつみ教室 <input type="checkbox"/> 様々な活動（各学校区で特色ある活動を実施） ①学習支援活動 ②安全指導支援活動 ③環境整備支援活動 ④地域連携活動	<input type="checkbox"/> 玉名市地域学校協働本部設置要綱に基づく活動の実施 <input type="checkbox"/> 「玉名市教育要覧」への位置づけ <input type="checkbox"/> 地域ボランティアの募集、地域ボランティアバンクの活用・更新 <input type="checkbox"/> 事業だより、市ホームページ、市広報誌、パンフレット等を活用した情報提供、普及啓発 <input type="checkbox"/> 学校、PTA、社会教育関係団体、自治会等のネットワークを活用した周知 <input type="checkbox"/> ハンドブックや参考資料・事例集等を活用した地域住民や学校関係者への普及啓発、理解の促進

学習指導要領の目標
よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る

＝編集後記＝

7月6日(水)の「はつらつシニア教室」の講話「今 学校で」の中で、大浜小学校の内田雅三校長先生が、「地域とともにある学校づくりを目指して、より良い地域社会づくりに貢献していきたい」と地域学校協働活動に関わる話をしてくださいました。コロナ禍のため「はつらつシニア教室」を再編した際、本事業に関するコマを削除した経緯があり有り難く思います。本事業の「よさ」を多くの人に認知してもらいたいです。事務局としても一層の啓発に努めます。皆様もそれぞれのポジションでよろしくをお願いします。